



## 北海道札幌白陵高等学校 PTA 活動報告

### 『一輪の花プロジェクト』

札幌白陵高校は、平成 8 年（1996 年）に 1 学年 10 クラス・定員 400 名の全日制普通科の大規模校として開校しましたが、現在では全校で 7 クラスの小規模校となっています。令和 3 年（2021 年）4 月には、北海道札幌養護学校高等部が「白桜高等学園」として校舎 2 階に移転し、併設されています。

本校の PTA 活動は、コロナ禍においても PTA 通信「白陵」の発行などの広報活動を継続してきました。今年度は、昨年度から再開した学校祭での生徒支援で、水分補給のための飲み物を格安で販売しました。クラス数も減って先生方の人数も少なくなったことから、先生方の負担軽減のために保護者だけで運営しました。準備に時間がかかりすぎたこと、当日の動きを各自が十分に理解していなかったこと、生徒の活動との関わりなど、いくつかの課題も残りました。今後の指針として『白陵高 PTA 活動憲章』の試案を協議しており、次年度の総会で発表する予定です。

一方で、活動への機運は高まっており、令和 7 年 3 月 1 日の卒業式では『一輪の花プロジェクト』を実施しました。卒業生が、自分の卒業に対する感謝の気持ちを、自ら決めた相手に伝えることを目的とし、卒業生が式に向かうために教室を退室した後、生徒の机に一輪の花とメッセージを置きました。3 年生たちが新たな旅立ちに向けて踏み出すこの大切な一日に、次の 3 つの想いを込めました。

感謝 これまで高校生活を支えてくださった方々への感謝

ねぎらい 高校生活で頑張ってきた自分自身へのねぎらい

未来へのエール この花を手に新たな一步を踏み出す 3 年生への応援

保護者や友人、自分自身など、贈る相手を自由に選び、感謝の気持ちを伝える。この瞬間に温かな気持ちが生まれ、その体験を通じて、今後の人生で大切なものに気づくきっかけとなることを願っています。卒業式後の卒業生のフロアには、温かく和やかな雰囲気が広がり、心に残る場となりました。

